

会員事業者のビジネスモデル策定支援

住所	福島県相馬市中村字桜ヶ丘71	資本金	-
代表者	会長 羽柴 信一郎(平成28年4月～)	従業員数	商工会議所会員 1,229名 青年部30名(平成27年4月時点)
設立年	昭和46年4月1日	売上高	-
業種	商工会議所		
TEL	0244-36-3171	URL	http://www.somacci.com/yeg/

事業概要(被災前)

- ・相馬商工会議所青年部は、20歳から50歳までの相馬商工会議所会員の若き企業家集団。
- ・地域を支える青年経済人として、地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、商工業の振興、自己研鑽、異業種交流の場として機能。



相馬市は野馬追と民謡の里

被災概要

- ・地震津波により、青年部員の店舗・事務所が損壊。
- ・風評被害による売上高が減少した店舗多数。



東京電力福島第一原子力発電所は相馬市から南に約40kmの位置



震災当時の相馬市の沿岸部

復興に向けた状況や課題

- ・建物等の復旧は補助金の活用などで進んでいるが、商圈・人口などの経営環境が震災前とは大きく変化。
- ・経営者にとって先行きが不安な状況が続く。
- ・相馬市商工業者全体の課題を共有し、復興に向けた中長期的なビジョンを描けるか。

支援テーマと内容

■商工会議所青年部 グループ支援

【平成25年度(全10回):平成25年5月～26年3月】

1. ディスカッション方法の習得
2. 青年部の将来ビジョンの明確化
3. 課題整理と解決策抽出、解決策の実行計画策定
4. 各事業者ごとの事業計画・ビジネスモデル策定～ビジネスモデルキャンパス、数値目標の立て方(損益分岐点分析)、売上アップの考え方、などの講義含む～
5. 発表会
 - 1) 相馬商工会議所青年部としての課題と解決策
 - 2) 会員事業者のビジネスモデルと今後の取り組み

■商工会議所青年部 個別事業者支援

【平成26年度(全9回):平成26年9月～27年3月】

1. 経営計画の策定支援(現状分析)
2. 経営計画の策定支援(営業戦略、原価管理)
3. 経営革新計画の申請支援
4. 小規模事業者持続化補助金の申請支援

■グループ支援(平成25年度)

10カ月に渡る勉強会の最終成果として、26年3月に発表会を開催



相馬商工会議所青年部
グループ支援参加者(発表会参加者)
※中央の畳を持った方は、次年度に小規模
事業者持続化補助金採択へレベルUP

青年部会員6事業者から「新ビジネスモデル」の発表

<p>支援の成果</p> <p>【平成25年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所青年部の将来ビジョンの明確化 (活動テーマ:「誇りと信念を持ったカッコいい青年部になる!」) ・ビジネスモデルの発表会 会社のビジョンを会員の前で発表 <p>【平成26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度参加者の中で個別に事業計画を策定し、経営のレベルUPや国施策活用に挑む事業者への支援を実施。 ・小規模事業者持続化補助金への申請に挑み、これまで学び続けたことを活かし、新たな取り組みを考え抜いて申請書を作成。見事、申請が3件採択された。 	<p>今後の事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ■商工会議所青年部を構成している若手経営者の経営基盤の確立 ・ビジネスモデルキャンパスの作成を通じた現状分析。 ・ビジネスモデルの構築とそれに伴う事業計画書の作成。 ・収益力アップの為に経営改善計画の策定。 ・小規模事業者持続化補助金等の公的補助事業を活用した販路拡大策の策定。 ・個別事業者のやる気を引き出し、応援できる協力関係を、相馬商工会議所と連携しながら実施(中小機構の震災復興支援アドバイザー制度を活用)。
--	---



(ディスカッションの様子)
アイデアを書き出し、共に考える

事業者からのコメント

いつも顔を合わせ共に活動しているメンバーですが、こうして改めて事業内容を聞くと、意外と他の会員の仕事内容を知らないことに気づいたり、自分の仕事と連携が出来そうな部分が見つかったりと、発見の連続で充実した発表会となりました。計画、発表だけでは終わらず、これから実現に向けて会員が一致団結し、自分の事業内容をより良くしていくことが、相馬の発展に繋がると信じ活動していくことを強く想い、発表会を終えました。

阿部アドバイザーにおかれましては、長期間にわたりご指導賜り誠にありがとうございました。

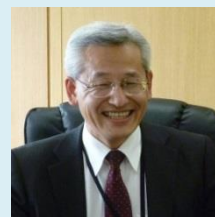


相馬商工会議所青年部
監事 寺岡 裕真氏
(寺岡畳店 代表)

震災復興支援アドバイザーからのコメント

今回の発表会は、ご自身の経営を見つめ直す良い機会になった事と思います。普段営業を行っていく中で、自社の強みは何なのか?ターゲットとなる顧客は誰なのか?という様な事を考える機会はあまり無いと思います。しかしそれは非常に重要な事であり、今後自社が生き残っていく上で、その経営資源をどのように経営に活かしていくかを常に考えていくことが必要です。

今後も相馬商工会議所青年部の皆様と共に経営について考え、皆で向上していく支援を行っていきますので、何卒よろしくお願いいたします。



震災復興支援アドバイザー
経営士 阿部 憲夫